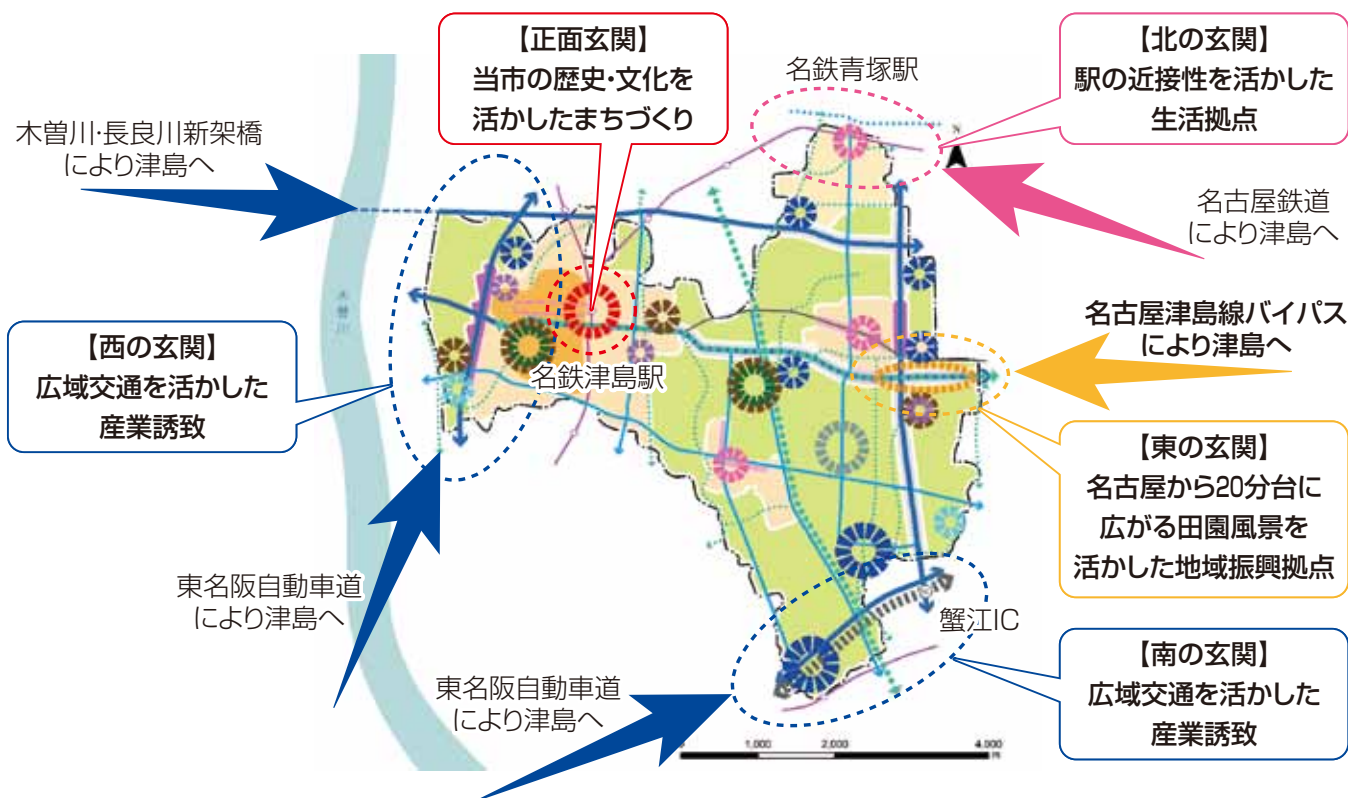


まちづくり再生元年 つしまゲートウェイ・プロジェクト

活力ある魅力的な「新たな津島市」に向けて、まちづくりの要として本市へアクセスする道路や鉄道の整備促進を基軸に、「正面玄関」を含む5つの玄関を配置して、交流人口や産業集成を高め、本市のGDP(市内総生産額)を向上していく未来に向けた新しいプロジェクトとなります。



こんな事業が進んでいます

木曽川・長良川新架橋

立田大橋等の渋滞緩和のほか、岐阜県と愛知県の新たな交流の促進を目指し、現在、新架橋建設に向けてルートを検討しています。



一宮西港道路

太平洋と日本海を結ぶ、新たな高速道路として、東海北陸自動車道の一宮JCより南進の区間で建設ルートを検討しています。



令和4年3月4日国土交通省中部地方整備局
愛知国道事務所発表より

ゲートウェイ・プロジェクトには、「つしまし」からなる4つのテーマのもと、未来に向けた津島市の価値を高める取組を進めていきます。

テーマ1

つながり、楽しみ、交流が発展する快適交流都市づくり

行ってみたい、住みたいと思えるまちづくりを進め、多様な世代が交流し、便利で暮らしやすい未来の津島市を目指します。

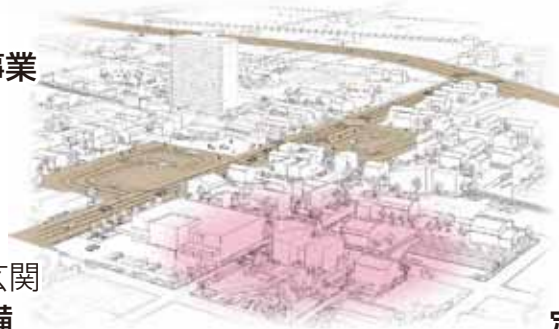


つしまの正面玄関
津島駅前再整備
天王通り無電柱化事業



県内トップクラスの子育て支援
子育て支援トータルプラン

令和5年度津島市
子育て支援トータルプラン



つしまの北の玄関
青塚駅前整備

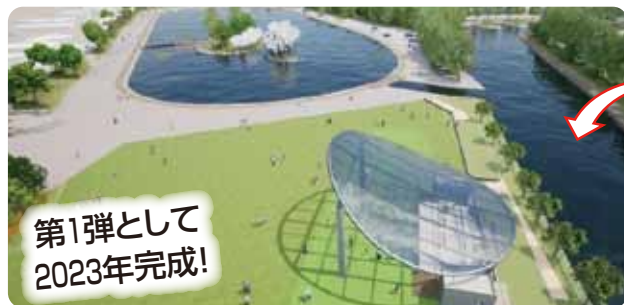
マイホーム
購入を支援
まちなか
定住促進補助金



テーマ2

自然、歴史、文化が織りなす自然歴史都市づくり

津島を代表する、自然、歴史、文化などの地域資源を活かし価値を磨き上げて、我がまち自慢できる未来の津島市を目指します。



第1弾として
2023年完成!

次の100年につなぐ
天王川公園Park-PFI再整備

公園の魅力高める
Park-PFI事業とは?

民間企業と公園を管理する市が連携して公園の魅力を高め、にぎわいづくりを目指す制度です。
民間企業が公園内にカフェなど施設の充実を図り、その収益の一部が公園の整備や管理に活用されます。



リニア中央新幹線の開業を見据えた
地域資源を活かしたまちづくり

名古屋津島線バイパスとは、津島市と名古屋駅(笹島交差点)を結ぶ県道で、愛知県の主要事業の一つとして整備が進められています。完成後、名古屋駅までの移動時間が大幅に改善されます。

テーマ3
ま

まちを支える経済産業が集積し

活性化する経済産業都市づくり

地域で頑張る企業の操業環境を応援し、新たな産業を生み出す企業誘致策を進め、より産業活力が豊かな未来の津島市を目指します。

規制緩和と支援制度による
企業誘致の推進

工業・物流拠点を
新たに3地区追加



約6年間で
16社の企業が進出

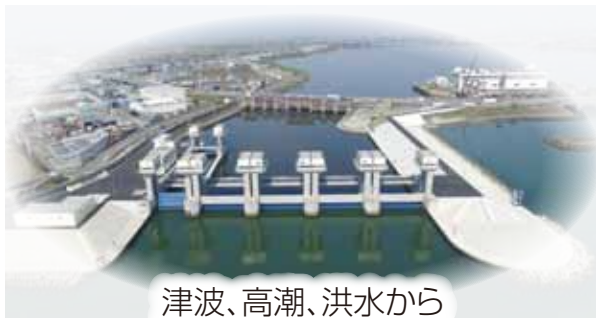
新たな工業・物流拠点を
見据えた
将来計画の見直し

テーマ4
し

自助・共助・公助、

そして市民の自立と協働による安全安心協働都市づくり

災害から市民の安全を守り、安心して暮らすことができるよう、防災・減災対策を進め、より防災力を高めた未来の津島市を目指します。



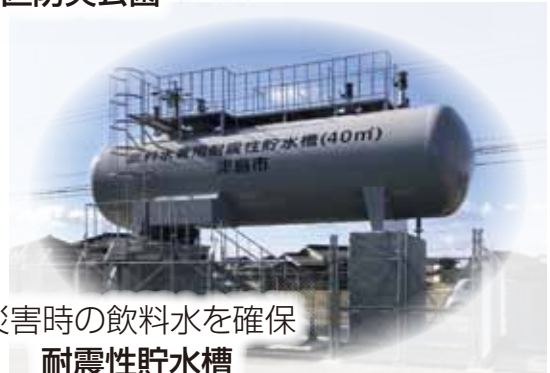
津波、高潮、洪水から
地域を守る日光川水閘門



津波から命を守る
神守地区防災公園



安全な避難と速やかな復興を支える
日光川右岸堤防災道路



災害時の飲料水を確保
耐震性貯水槽

津島駅周辺まちづくり構想

地域の魅力の核となる津島駅、津島神社、天王川公園、そして新たな拠点とこれらをつなぐ天王通りを中心にまちを再生していきます。

この構想では住民や来訪者が望むまちとなるように、住民とのワークショップや社会実験などを行いながら、点・線・面の3つのステップでまちづくりを進めていきます。

まちづくり構想全体像



新たな拠点の整備

市が所有する土地を民間と連携して質の高い整備運営のほか、価値となる魅力を高めた拠点に向けて利活用を進めていきます。



旧わざ・語り・伝承の館



旧いちい信用金庫
天王通り支店

社会実験「えきまえVIP」

利用者が各拠点をどのように使うかを実験しました



R4社会実験
13,000人来場



R3社会実験
5,000人来場